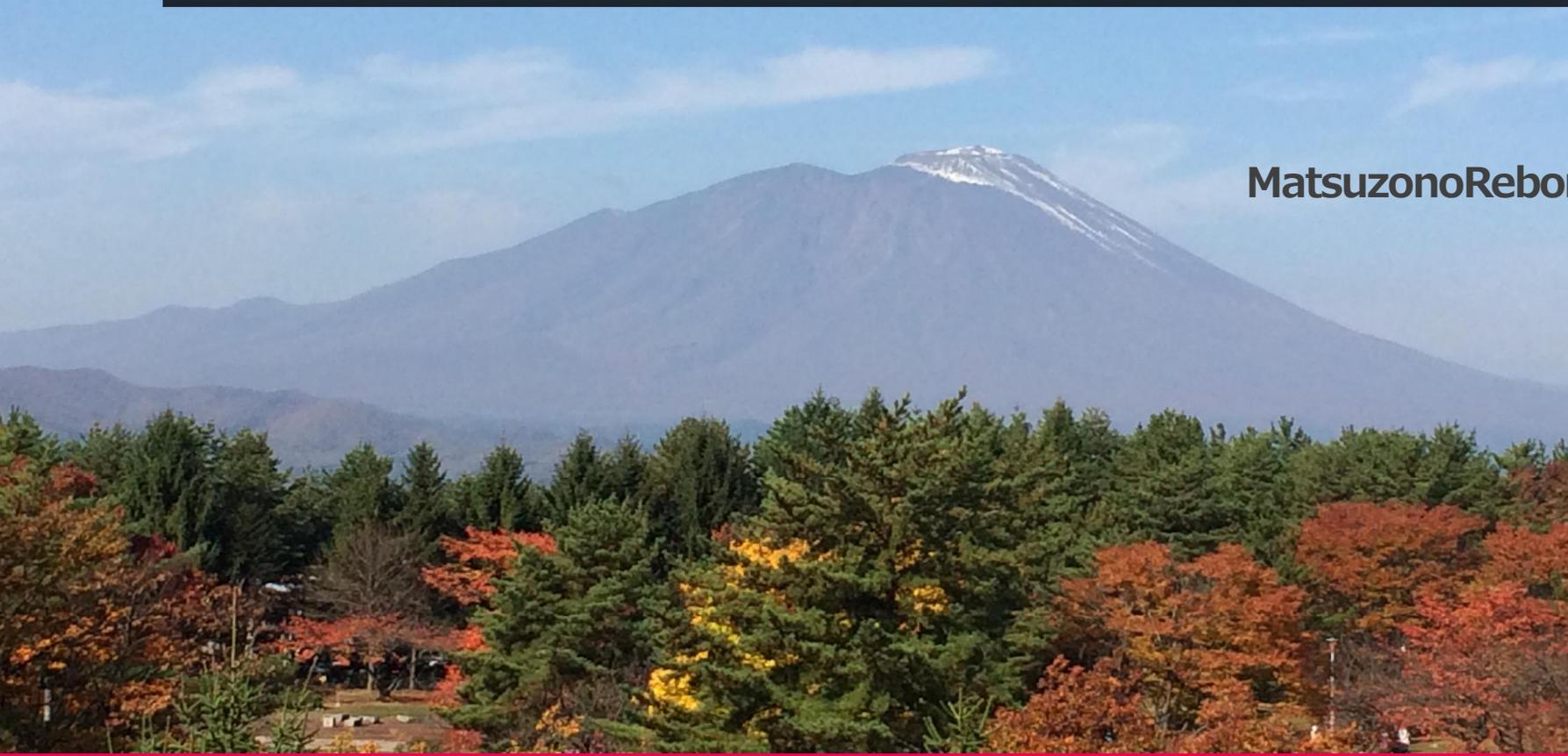


住民からスタートする「団地再生」

～私たちの挑戦と松園ニュータウンの未来～

MatsuzonoRebornプロジェクト研究会

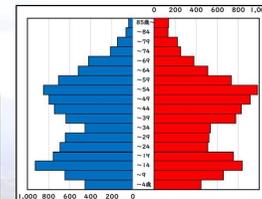
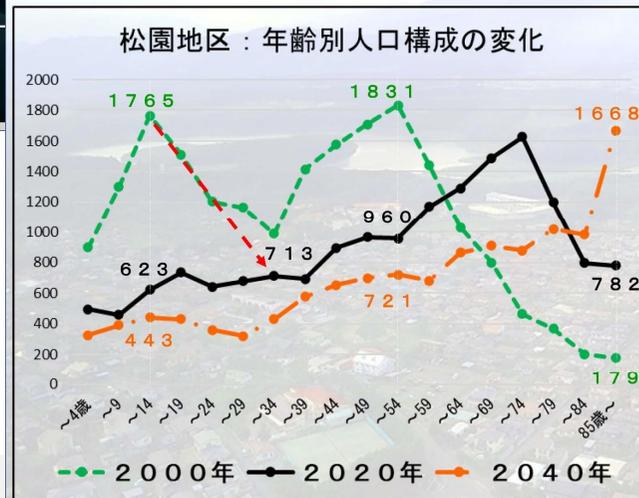


松園地区の概要

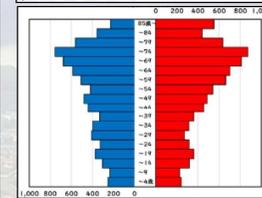
●現在は 世帯数 約6,000世帯（県営アパート含む）、人口 約16,000人



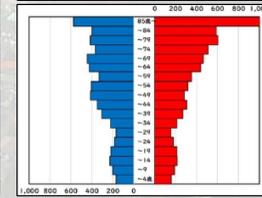
- ・岩手県盛岡市の北部に位置する
- ・市中心部から車で20分（約6.8km）、盛岡駅まで車で25分（約7.2km）。バスで30分～40分
- ・団地の入り口にバスターミナルがある（バスの便は比較的良い）
- ・小学校3校、中学校2校、スーパー2店



2000年
19,853人
高齢化率
10.2%



2020年
16,224人
高齢化率
36.3%



2040年
12,375人
高齢化率
44.2%

推計人口出典：「全国小地域別将来人口推計システム」（システム作成者：青山学院大学 井上 孝、本システムのURLは <http://arcg.is/1LqC6qN>）

Matsuzono Rebornプロジェクト研究会

「MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会」(仮称)

発足趣意書

～松園を、継続して住み続けられ、若い世代を呼び込む住宅団地に再生しよう～
(持続可能なまちづくりを目指して)

私たちの松園団地(旧称「松園ニュータウン」「サンタウン松園」及び「グリーンハイツ小鳥沢」の区域)では、平成15年9月の住民基本台帳で12.3%だった高齢化率が平成30年には35.0%に達し、14歳以下の人口が3,112人から1,463人と大幅に減少して小中学校の統廃合問題が発生し、多くの空き家も見られます。

全国でも、高度成長期を中心に開発された約3000カ所に及ぶ住宅団地で住民の高齢化等が進行しており、生活利便や地域コミュニティの活力の低下、空き家・空き地の発生等の課題が顕在化しています。

これらの住宅団地については、業務・交流の場などの多様な機能を導入することにより、就業機会の創出やコミュニティのつながりの維持を図るなど、職・住・育が近接した多世代共生のまちへの転換を促すことが有効と考えられます。加えて、高齢者が安心して住み続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築と併せて、医療・福祉施設や生活利便施設、地域交通機能の充実に努めることが必要となっています。

このため、国は「地域再生法」の一部を改正して「地域住宅団地再生事業」を創設し、令和2年1月5日に施行するとともに、このような住宅団地に関する課題について政府の支援も受けて取組みを進めていこうとする市町村に対し、内閣府や国土交通省等の関係府省庁が総合的な伴走型支援を行うこととされ、令和2年2月10日に住宅団地の再生に関して政府による支援を希望する市町村の募集が開始されました。

これらの動向を踏まえ、松園地域においても地域住宅団地再生事業と政府の支援策等を研究し、その導入を推進するため、このたび「MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会」(仮称)を発足させることといたしました。

つきましては、本研究会発足の趣旨をご理解いただき、ご賛同とご参加くださいますよう、心からお願い申し上げます。

令和2年2月 吉日

「MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会」(仮称) 設立発起人

藤澤 大祐 松園不動産相談室(株) 代表取締役
米内 紘正 岩手県議会議員
伊藤 夏樹 国土交通省国土交通政策研究所 研究員

- 2019年2月 Matsuzono Rebornプロジェクト研究会 発足

- 活動目的 松園ニュータウンを住み続けられる街に再生する

- 会員数 一般会員 25名
学生会員 4名
法人会員 14団体
合計 43名・団体

サポーター制度 (興味のあるテーマについて自由に参加)

- 2019年3月 住宅団地再生ハンズオン支援採択

令和2・3年の活動

(住民の声を出来るだけ拾い、形にする)

<p>国と盛岡市の支援</p> <p>① 内閣府ハンズオン支援</p> <p>② 市公募型協働推進事業</p>	<p>① 内閣府ハンズオン支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月13日 盛岡市が応募 令和2年3月30日 内閣府が全国7地区を選定 北海道東北地区で唯一選定 <p>② 盛岡市公募型協働推進事業(補助金上限50万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度・3年度 連続して選定
<p>アンケート調査</p> <p>現状の満足度・重要度</p> <p>夢 こんなまちならいいな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年9月1日～21日に実施 小学5年生以上による全員参加型 小中学生501名を含む2479名が回答 現状への住民満足度・重要度意識を調査 10年後の松園地区の望ましい姿を自由記述で募集、キーワードでとりまとめ
<p>キックオフフォーラム</p> <p>基調講演</p> <p>パネルディスカッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年11月7日に開催 中学生から80歳代まで、会場参加143名、オンライン参加41名、計184名が参加 スタッフ・報道を含めた参加者総数240名 基調講演は東大大学院大月教授 パネリストは内閣府・NPO・民間企業・市
<p>第1回未来デザイン会議</p> <p>おでかけワークショップ</p>	<p>新型コロナウイルス対策のため、各団体を訪問して少人数によるワークショップを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から7月にかけて実施 小学生から80代まで12団体125名が参加 付箋728枚の提案 類似した提案をKJ法で36項目に整理
<p>第2回未来デザイン会議</p> <p>全体ワークショップ</p>	<p>県内・市内の新型コロナウイルス感染状況の隙間を縫って集合型ワークショップを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月31日に開催 中学生6名を含む38名が参加 大谷翔平選手が使った「目標達成シート」を利用 6班から47項目の目標を提案
<p>第3回未来デザイン会議</p> <p>全体ワークショップ</p> <p>8つの目標決定</p> <p>「未来地図」作成</p>	<p>県内の新型コロナウイルス感染が沈静化したことから、集合型ワークショップの開催を決定(11月28日)</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査と2回のワークショップの結果から「8つの目標(案)」を作成 松園新聞11月1日号で、参加者と意見を募集 並行して、関係団体に説明 寄せられた意見を反映した案についてワークショップで話し合い、決定(予定) 自由な発想で「8つの目標」を実現するための具体的な方策(事業例)を白地図に描いて「未来地図」作成
<p>今後の予定(イメージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 未来地図や住民・団体意見で64件の取組み案を検討 取組み案の中から実際に取組む事業を選択 市が国のハンズオン支援を受け地域再生計画等を策定 地域再生計画等に基づいて各種事業実施 地域再生計画等に載らない有効な取組みについても、地域でできることやすぐに取組めることは実行

アンケート調査（小中学生も含めた約2,500人が回答）

みんな で考えよう 松園の未来!!

アンケートにご協力を

期間：9月22日まで **回答：協力施設の回収箱に投入**

対象：小学5年生以上
住んでいる方
住んでいた方
勤めている方
全員！

用紙：松園新聞に折込協力施設に配置

松園新聞掲載の協力施設にこんな回収箱が置いてあります。最寄り施設で投入してください。

声 にこたえて 声 をカタチに

QRコードを読み取って回答もできるよ！

この後の予定
11月7日 キックオフ・フォーラム アンケート結果発表と住宅団地再生の事例や進め方などをみんなで勉強
～3月 4回のワークショップ 松園の未来と実現方法についてみんなで話し合い
3月末 みんなの意見をまとめて市長に提案

連絡先
MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会
TEL:090-2606-8178
副会長 副代表 村井研二

MATSUZONO Reborn（松園リボーン）プロジェクト研究会
〒020-0105 盛岡市北松園4-4-3 松園不動産相談室内 FAX 662-1573 E-mail matsuzonoreborn@gmail.com

令和2年度盛岡市市民協働推進事業補助対象事業「松園リボーン・住民意見集約事業」

みんなで考えよう松園地区の未来!!

アンケートにご協力をお願いします

2000年の松園地区（松園地区自治協議会加入13町内会・自治会の区域）の人口は約20,000人（高齢化率10%）で、元気にぎやかなまちでした。20年たった現在は約16,000人に減少しました。このままでは20年後の2040年には約12,000人まで減り、その半数近くが高齢者になってしまうでしょう。そうならないように、みんなで考え、話し合っ、松園地区を子どもから高齢者まで元気に楽しく暮らせるまち、みんなに選ばれるまちにしたいと思います。初めに小学5年生以上の皆さん全員（二人世帯の場合お二人とも。転出者を含む）にアンケートをお願いして皆さんが松園地区の今と将来をどう考えているかを調査し、続いてその結果をもとに「松園地区の未来!!」を話し合いたいと考えています。この取り組みは、今年の3月に、国が支援するまちづくりとして全国7地区の一つに選ばれました。北海道・東北地方では松園地区だけです。皆さんの夢がかなえられるよう、一緒にがんばりましょう。ご協力、よろしくお願いたします。

MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会 代表 藤沢大祐

アンケートの回収方法（小中学生は学校で配布・回収します）
9月22日までに、主要な施設（地区公民館、活動センター、県民生協ベルフ、ユニバース、岩銀・北銀・東銀・盛岡信金各支店、松園第一・二病院、臼井医院 守口歯科等）に配置する「回収箱」に入れてください。
※PCやスマホ等でも回答できます。9月22日までに、Facebook「MATSUZONO Reborn 研究会」にアクセスするか、右のQRコードから、回答フォームにご記入ください。

- I はじめに、ご自身について教えてください（1つだけ○をつけてください）
- 問1 性別
男性 女性
- 問2 年齢層
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
- 問3 世帯の構成
一人暮らし 夫婦のみ 親と二世帯同居 子と二世帯同居 三世帯同居 その他
- 問4 ご自身の職業等
会社員 公務員 自営業・会社役員 主婦・主夫 年金受給者 無職 高校生 大学（院）生・専門学校生 その他（ ）
- 問5 現在お住まいの地域
松園1～3丁目 東松園 西松園 北松園 小鳥沢1・2丁目 小鳥沢 東黒石野 松屋敷 市内他地区 県内他市町村 県外
- 問6 お住まいの種類（二世帯・三世帯同居を含む）
戸建て持ち家 戸建て借家 民間アパート 県営アパート 社宅・公舎等
- 問7 松園地区にお住まいの期間：
5年未満 5年以上10年未満 10年以上20年未満
20年以上30年未満 30年以上40年未満 40年以上

小・中学生用

令和2年度盛岡市市民協働推進事業補助対象事業「松園リボーン・住民意見集約事業」

みんなで考えよう松園地区の未来!!

アンケートにご協力をお願いします

2000年の松園地区の人口は約20,000人で元気にぎやかなまちでした。それから20年たった現在は約16,000人に減少しました。このままでは20年後の2040年には約12,000人まで減り、その半数近くがお年寄りになってしまうでしょう。そうならないように、みんなで考え、話し合っ、松園地区を子どもから高齢者まで元気に楽しく暮らせるまち、みんなに選ばれるまちにしたいと思います。初めに小学5年生以上の皆さん全員にアンケートをお願いして、皆さんが松園地区の今と将来をどう考えているかを調査し、続いてその結果をもとに「松園地区の未来像とその実現方法」を話し合いたいと考えています。この取り組みは、今年の3月に、国が応援するまちづくりとして全国7地区の一つに選ばれました。北海道・東北地方では松園地区だけです。皆さんの夢がかなえられるよう、一緒にがんばりましょう。ご協力、よろしくお願いたします。

MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会 代表 藤沢大祐

※ この調査票は、学校で配布し、回収します。
※ このアンケートについて質問がありましたら、担当者にご連絡ください。
担当者：副代表 村井研二 電話：090-2606-8178 FAX：019-661-8791

- I あなたにあてはまるものに1つだけ○をつけてください。わからないところは書かなくていいです。（学年は数字を記入してください）
- 問1 学年 年 男 女
- 問2 現在住んでいるところ
松園1～3丁目 東松園 西松園 北松園 小鳥沢1・2丁目 小鳥沢 東黒石野 松屋敷 市内他地区 県内の他の市町村
- 問3 どんな家に住んでいますか
1戸建ての自分達の家 1戸建てを借りている 民間アパート 県営アパート 社宅・公舎等 その他
- 問4 そこにどのくらい住んでいますか
5年未満 5年以上10年未満 10年以上
- 問5 これからも松園地区に住み続けたいですか。
住み続けたい できれば住み続けたい できれば引越したい 引越したい わからない
その理由を下の欄に書いてください。

松園地区再生への8つの目標(案)

松園地区再生:目標達成シート

	こころを 通わせる まち			ワクワク する まち				自由自在 に住める まち
			こころを 通わせる まち	ワクワク する まち	自由自在 に住める まち			
	健康で安心 して暮らせる まち		健康で安心 して暮らせる まち		地域資源を 輝かせる まち			地域資源を 輝かせる まち
			新しい技術 に挑戦する まち	出かけ たくなる まち	学びが 楽しくなる まち			
	新しい技術 に挑戦する まち			出かけ たくなる まち				学びが 楽しくなる まち

松園地区再生:8つの目標(案)



先行事業検討チームへの参加者を募集!

今年度も盛岡市の「公営型市民協働推進事業」に採択され、市との協働で具体的な事業の検討に入ります。市では関係者による「地域再生協議会」を設置して「地域再生計画」の作成に取り組む予定です。私たち地元では、「地域再生計画」への提案と、すぐに実施可能な取り組みの着手による「活動の見える化」を進めます。

研究会では、以下の「住民参加による先行事業検討チーム(仮)」を設けて事業化を検討したいと考えています。奮ってご参加ください。
○お名前、希望チーム名、連絡先(メール、FAX、携帯等)を、7月10日までに、一番下に記載の研究会連絡先へお知らせください。
○会員、サポーターも随時募集中です。併せてお知らせください。



こころを通わせるまち
ワクワクするまち
自由自在に住めるまち

健康で安心して暮らせるまち
地域資源を輝かせるまち

こころを通わせるまち
隣近所の顔が見える関係をベースに、楽しいことや困っていることを地域で共有し、世代間交流がより人々が繋がる居心地よいまちへ

ワクワクするまち
楽しみ、くつろげる空間をつくり、「住む・働く・学ぶ」+「遊ぶ」で賑わいがあるまちへ

自由自在に住めるまち
多様な住まい方、働き方、ライフステージに合わせてリノベーションや住み替えができるまちへ

健康で安心して暮らせるまち
地域コミュニティの繋がりを基本に、最新技術も活用して、こどもから高齢者までの健康と安全を見守り、心も体も元気に安心して暮らせるまちへ

地域資源を輝かせるまち
自然環境、空き家、人材、エネルギー等あらゆるハード・ソフトの地域資源を登録・再構築し、地域価値を高めます

現在のチーム体制

8つの目的を達成して松園を再生するために!!

①公園キャンプチーム	男21名	女6名	計27名
④公共交通チーム	男22名	女3名	計25名
③中心づくりチーム	男32名	女9名	計41名
・デジタルチーム	男14名	女1名	計15名
②カフェチーム	男19名	女15名	計34名
・空き住宅チーム	男11名	女2名	計13名
・エネルギーチーム	男8名	女1名	計9名
・空き住宅チーム	男11名	女2名	計13名
(デジタル・エネルギー・空き住宅チームは休眠中)			

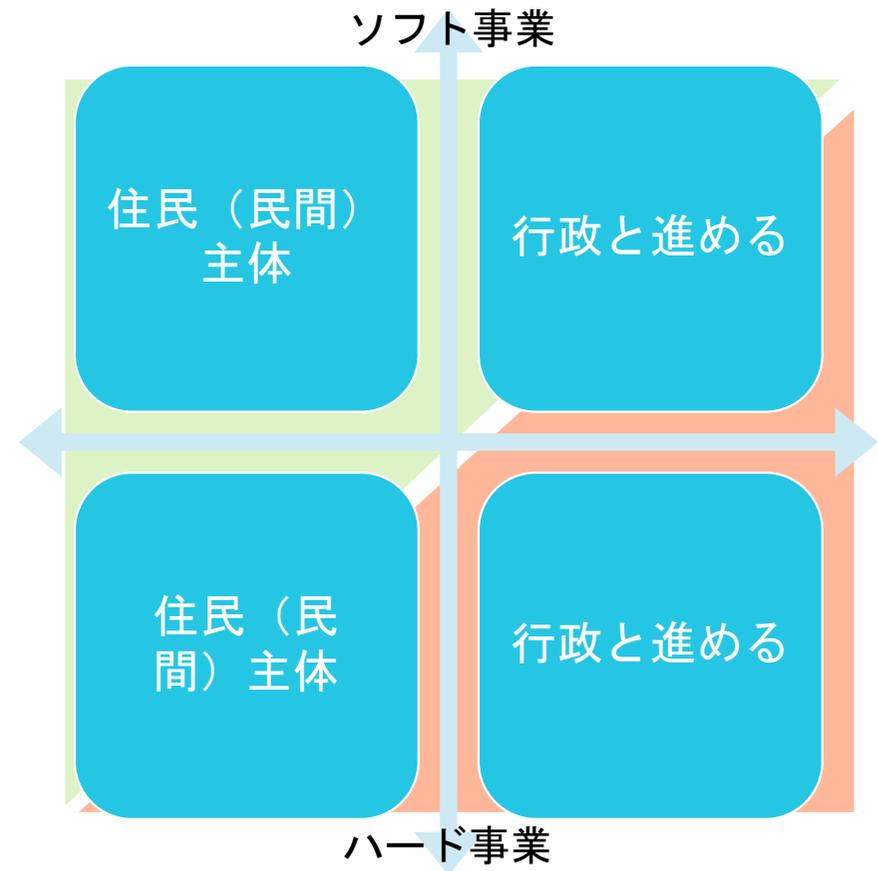
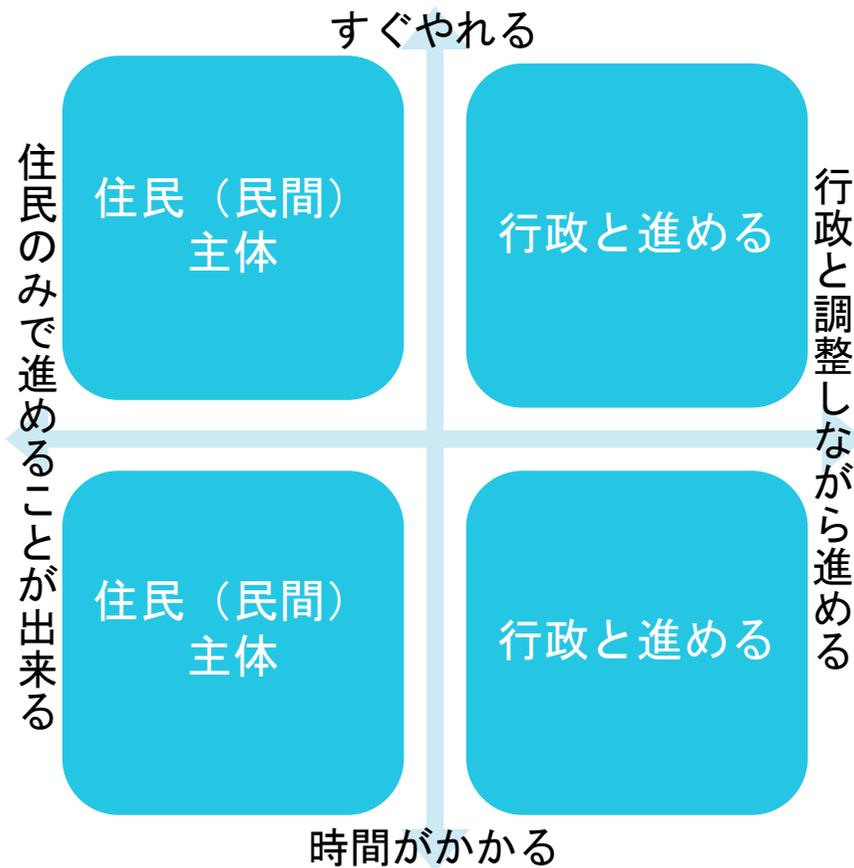
松園版目標設定シート「将来ゾーンの目標8項目」村井再検討案

概念・キーワード	目標案	目標案再検討	第2回全体WS各班提案	おでかけWSの提案	アンケートキーワード	会員提案
関係性 relationship (絆 きずな) 世代間交流 コミュニティ 楽しい	関係性あふれるまち 人と人との結びつき、支え合いや助け合いの豊かなまちにしよう	・「関係性」では意味や強弱が分かりにくい。 ・震災を契機に、人と人、地域と地域との、つながり、支え合いや助け合いを表す文字・言葉として、「絆」が定着している。 ・目標案 絆のまち ・説明文案 世代間やコミュニティ内外の、楽しい、交流、支え合いなどのつながりがあふれるまちにしよう。	子ども、若い世代が住みやすいまち (第1期) 知・文化が活発なまち (第2期) 誰もが集えるまち (第3期) カルチャーセンター 若い人たちが住みたくなるまち (第4期) 近所でカフェがあるまち (第5期) 1か所何でもできる複合施設のあるまち (第6期) 子どもたちが勉強しなくなる本に頼り続けるまち (第7期) 子どもたちが勉強したくなるまち (第8期) 若者・シニアが楽しく暮らせるまち (第9期) 子どもが楽しく育つまち (第10期) 心地よくリラックスして過ごせる場所や施設⇒交流へ (第11期) 若い人が住みたくなる魅力ある街 (第12期)	⑤近所でカフェができるまち ⑥誰もが集えるまち ⑦外の人も住民も誰でも遊べるまち ⑧楽しいイベントがいっぱいできるまち ⑨いろいろなスポーツをやってみよう ⑩いろいろなスポーツを見て楽しむまち ⑪子どもがのびのび遊べるまち ⑫シニアが楽しく暮らせるまち	・子育て世代・若い世代の暮らし ・高齢者の暮らし ・コミュニティ活動 ・教育 ・医療・介護 ・若者男女が集うまち ・安全安心 ・情報発信	世代を交えて支え合いつながり支えてくつまち (第1期) 誰かが困った時に助け合えるまち (第2期) 誰もが安心して暮らせるまち (第3期) シニア対策、子育て応援、若者対策が充実したまち (第4期) 若者男女が集うまち (第5期) 身近にコミュニティカフェがあるまち (第6期) 交流が生まれ楽しく過ごせるまち (第7期) 多様な世代間交流が可能な場所があるまち (第8期) 近隣施設と連携するまち (第9期) 全てがつながるまち (第10期) 世界とつながる、地域とつながるまち (第11期)
遊び recreation (癒 いやし) 遊び スポーツ アウトドア 健康 文化 趣味 交流	遊び心を大切に 生涯学習の 楽しさに恵まれた まちにしよう	・「遊び心」も良いが、遊びも含めた多様な活動・行動によって、心身が癒され、充足できることが重要。 ・目標案 癒されるまち ・説明文案 遊び・学び・買い物など、楽しく多様な活動・行動による心身両面の癒しを大切にすることをしよう。	⑬自然・アウトドアとともに生きるまち (第13期) 1か所何でもできる複合施設のあるまち (第14期) 歩いて走って自転車道 道路を活用した健康なまち (第15期) 自然を活かした街づくり (第16期) 健康で楽しく長生き (第17期) 知用しやすい図書館・読書のまち (第18期) もっと自然とともに生きるまち (第19期) 近所でカフェがあるまち (第20期) 子どもたちが勉強しなくなる本に頼り続けるまち (第21期) いろいろなスポーツをやってみよう (第22期) いろいろなスポーツを見て楽しむまち (第23期) 子どもがのびのび遊べるまち (第24期) 子どもが楽しく育つまち (第25期) 心地よくリラックスして過ごせる場所や施設⇒交流へ (第26期)	⑬大規模商業施設のあるまち ⑭遊園地・公園・動物園 ⑮外の人も住民も誰でも遊べるまち ⑯温泉施設で癒しのまち ⑰楽しいイベントがいっぱいできるまち ⑱歩いて自転車に乗って楽しむまち ⑲遊びたくなる施設が整った公園のあるまち ⑳自然を活かしてアウトドアが楽しめるまち ㉑いろいろなスポーツをやってみよう ㉒いろいろなスポーツを見て楽しむまち ㉓子どもがのびのび遊べるまち ㉔シニアが楽しく暮らせるまち	・商業飲食創業施設 ・公園・運動施設 ・子育て世代・若い世代	自然を活かしたスポーツ・アウトドアが盛んなまち (第1期) 読書のまち (第2期) 健康なまち (第3期)
住居 residence (住まい) 住宅 アパート シェアハウス タウンハウス 移住 リノベーション	多様性と安らぎある住居が充実したまち 若い世代も暮らしやすいまちにしよう	・戸建住宅、民間アパートは築後30〜50年を経て老朽化や空き家化が進んでいる。(改築済みを除く。) ・県営アパートは未改修の老朽化が進んでいる。 ・安全安心・利便性 ・少子高齢化にはどうにか世代の新しい世代を進めるためには、住宅の改修・改築を進めることが重要。 ・目標案 住 (住まい) が充実したまち ・説明文案 戸建住宅や官民アパートのリノベーションを促進し、世代の新しい世代が進むまちにしよう。	㉕空家を活用した住みよいまち (第27期) ㉖良質なシェアハウス・アパートに住めるまち (第28期) ㉗もっと自然とともに生きるまち (第29期) ㉘若者・シニアが楽しく暮らせるまち (第30期) ㉙健康づくりのできるまち (第31期) 若い人が住みたくなる魅力あるまち (第32期) 若者・シニアが楽しく暮らせるまち (第33期) ㉚新しい産業を興して働く場所があるまち (第34期)	⑳空家を活用した住みよいまち ㉑良質なシェアハウス・アパートに住めるまち ㉒もっと自然とともに生きるまち ㉓若者・シニアが楽しく暮らせるまち ㉔健康づくりのできるまち ㉕若い人が住みたくなる魅力あるまち ㉖若者・シニアが楽しく暮らせるまち ㉗新しい産業を興して働く場所があるまち	・商業飲食創業施設 ・公園・運動施設 ・子育て世代・若い世代	自然を活かしたスポーツ・アウトドアが盛んなまち (第1期) 読書のまち (第2期) 健康なまち (第3期)

「実現方法」提案集計と取組み案 2022.1.12

	アンケート		おでかけWS		第2・3回全体WS		取組み案	
	意見数	比率	意見数	比率	意見数	比率	意見数	比率
アンケート	24	10%	16	57%	5	42%	72	30%
おでかけWS	21	9%	7	25%	3	25%	43	18%
第2・3回全体WS	10	4%	3	11%	2	17%	34	14%
取組み案	46	19%	2	7%	1	8%	29	12%
意見数	37	15%	2	7%	1	8%	24	10%
比率	29	12%	2	8%	1	8%	20	8%
合計/全体からの比率	239	13%	28	4%	12	3%	244	8%
意見数	21	7%	38	12%	23	19%	159	28%
比率	21	7%	34	11%	19	16%	110	19%
合計/全体からの比率	109	36%	41	13%	18	15%	54	9%
意見数	37	12%	10	3%	17	14%	47	8%
比率	10	3%	16	5%	14	11%	36	6%
合計/全体からの比率	88	29%	15	5%	6	5%	34	6%
意見数	8	3%	6	2%	6	5%	34	6%
比率	2	1%	10	3%	5	4%	25	4%
合計/全体からの比率	3	1%	4	1%	4	3%	23	4%
意見数	39	12%	39	12%	2	2%	19	3%
比率	7	2%	7	2%	2	2%	14	2%
合計/全体からの比率	15	5%	15	5%	1	1%	10	2%
意見数	13	4%	13	4%	1	1%	6	1%
比率	17	5%	17	5%	1	1%	4	1%
合計/全体からの比率	49	15%	49	15%	1	1%		
意見数	7	2%	7	2%	1	1%		
合計/全体からの比率	299	16%	319	51%	122	30%	575	20%
意見数	1	1%	5	13%	6	43%	77	35%
比率	9	5%	9	23%	5	36%	36	17%
合計/全体からの比率	12	7%	4	10%	2	14%	24	11%
意見数	14	8%	9	23%	1	7%	22	10%
比率	12	7%	5	13%			17	8%
合計/全体からの比率	24	14%	6	15%			13	6%
意見数	54	31%	1	3%			13	6%
比率	29	17%					9	4%

全体の進め方の基本的な考え



まずはやってみよう！！

モルック&キャンプ

Matsuzono Camp! vol.4

2024.10.19 sat・10.20 sun

会場 松園中央公園

キャンプサイト 19日 11:00 受付

イベント詳細、参加お申し込みは専用サイトから
キャンプ参加応募が多数の場合、抽選になる場合があります。
各イベントは予約なしで参加可能です。

撮影地：松園中央公園

キャンプ参加要予約
サイト料 2,000円～
+1人あたり500円

QRコード

さあ、松園で野遊びしよう

お食事やコーヒーのお振る舞い付きキャンプ

キャンプ参加者には、お食事などのお振る舞いがございます。
テント設置して、お手軽にイベントや出店店舗の飲食を楽しみください。
調理などの準備をしなくて良いお手軽キャンプです。(マイ皿、マイスプーン、マイカップなどはご持参ください)



19日 sat 20日 sun

テント・アウトドアギア展示

TAKIBI スイーツ お振る舞い

入賞者に豪華景品 モルック投げ大会

無料

最新ギアの展示
テント設置のフォロー
スポーツオーソリティ盛岡店

日本一に輝いたパティンエが
焼き火で焼く絶品スイーツ!

マイモルックを誰が
目印まで一番近くに投げられるか!

19日 sat

マイモルック作り ワークショップ

景品争奪 モルックチャレンジ

キャンプ宿泊料金

サイト料 2,000円

テント+タープ
+お一人500円

1人 2500円
2人 3500円

※テント2張りする場合は別途テントロープが必要
※未就学児は無料です

お振る舞い

19日 タ カフェおへんせ
キーマカレーと豚汁

20日 朝 肉まん & スープ・ドリンク

※テントサイトでは火気が使えません。
※調理などはイベントフィールドに焚き火台
やコンロ等をご用意します。
内容が変更になる場合がございます。
詳しくはホームページでご確認ください。

旬の食材ピザ

飲食・物販ブースは19日 AM11:00～

キッチンカーレーブ

農家の焼き芋

ベジブル

ホット&アイスコーヒー

農家の新米、採れたて野菜

アウトドアギア

まほろ岩手

二社社

村上農園

ブルージック



2022/10/24 朝刊

2022年(令和4年)10月24日(月曜日)

川	060-2335	矢野	072-3111	野村	080-2859	きんぐいし	030-6299	稲葉	060-2207	山本	073-2389	藤野	060-2731
山	030-4530	高橋	072-3111	藤平	080-4080	藤田	030-2622	丸山	043-3666	山本	083-2009	藤野	060-2460
南	030-1822	西原	060-2333	滝沢	060-4519	津田	030-6977	大塚	079-1952	山本	062-2228	藤野	060-2228
都	080-3061	大塚	0871-6166	野村	033-3383	いんぐわ	033-2628	中野	060-7758	山本	082-1919	藤野	060-0319
市	0613-5540	小野	060-2422	松本	022-1122	松本	060-7751	安代	023-3305	安代	060-0319		

松園再生へ初イベント

キャンプで公園利活用

盛岡市松園地区の再生は、人口減少と高齢化が進む市域再生の課題。地域の公園の活用を促した。22日、松園中央公園でキャンプイベントを開催し、異分野の約100人が参加し、キャンプの楽しさを体験した。豊かな自然を生かした新たな活力の芽を育てる。

盛岡市松園地区の再生は、人口減少と高齢化が進む市域再生の課題。地域の公園の活用を促した。22日、松園中央公園でキャンプイベントを開催し、異分野の約100人が参加し、キャンプの楽しさを体験した。豊かな自然を生かした新たな活力の芽を育てる。

盛岡市松園地区の再生は、人口減少と高齢化が進む市域再生の課題。地域の公園の活用を促した。22日、松園中央公園でキャンプイベントを開催し、異分野の約100人が参加し、キャンプの楽しさを体験した。豊かな自然を生かした新たな活力の芽を育てる。

盛岡市松園地区の再生は、人口減少と高齢化が進む市域再生の課題。地域の公園の活用を促した。22日、松園中央公園でキャンプイベントを開催し、異分野の約100人が参加し、キャンプの楽しさを体験した。豊かな自然を生かした新たな活力の芽を育てる。

主催 MATSUZONO Rebornプロジェクト研究会 共催 盛岡市

MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会

〒020-0105 盛岡市北松園4-4-3 松園不動産相談室内
FAX: 019-662-1573
E-mail: info@matsuzono-reborn.net

松園リポーン で検索 <https://matsuzono-reborn.net/>

楽しい!おいしい!

おへれんせ祭り

カフェおへれんせ

いつものメニューにプラスして

★お祭り特別メニュー★

アイスパイン をご用意!

さらに!かき氷は

お祭り特別価格の 200円!

もも味・コーラ味・ラムネ味もあります



フリーマーケット

小物や雑貨、古着など
掘出し物に出会える



ステージ発表

10:00~ DarlingsBand+SHIZUKU

11:00~ ながしのマリコ

11:40~ 松園シルバーダックス

13:00~ よさこいソーラン

13:30~ 松園ベンチャーズ

みんなで踊ろう
よさこいソーラン!
飛び入り参加大歓迎!



日時 **9月8日(日)**
10:00~15:00
(雨天決行)

場所 **カフェおへれんせ**
& 白井循環器
盛岡市松園
(駐車場あります)

お問合せ: 松園リポーンプロジェクト研究会

〒020-0105 盛岡市北松園4-4-3(松園不動産相談室内)

Tel:090-2606-8178 (村井) Mail:murai1106@space.ocn.ne.jp

イベントの詳細は
カフェおへれんせHP

カフェおへれん



デジタルライフプランナーがやってきた。

参加費 300円

はじめてのスマホ教室

講師プロフィール
デジタルライフプランナー
今出ゆきよ

スマホのカナカナ用語を日本語で説明しています。わかりやすい指導が好評で、多くの参加者から高く評価されています。最新のデジタルを日常生活で便利に活用する方法を提案しています。

デジタルライフプランナー
三宅 優子

お祭りに合わせて最新アプリの好評です。新しいことが大好きでデジタルに精通しており、好感心が旺盛です。

日時 2024. 9.14 土
時間 13:30~14:30
場所 カフェ・おへれんせ
定員 10名
持ち物 スマートフォン、充電器

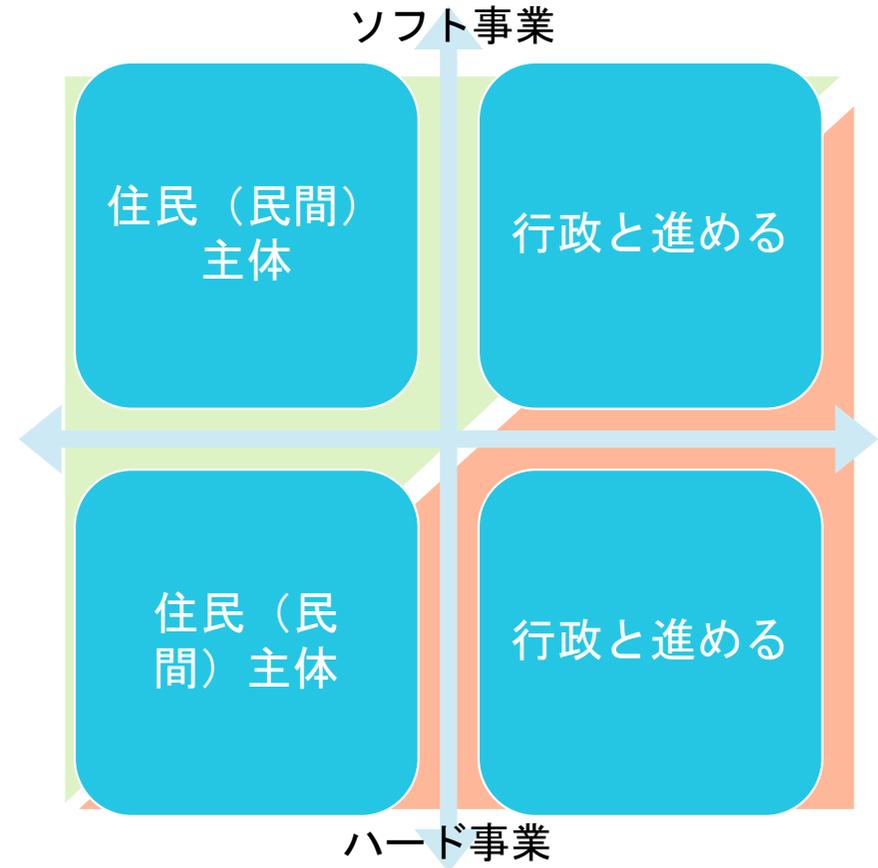
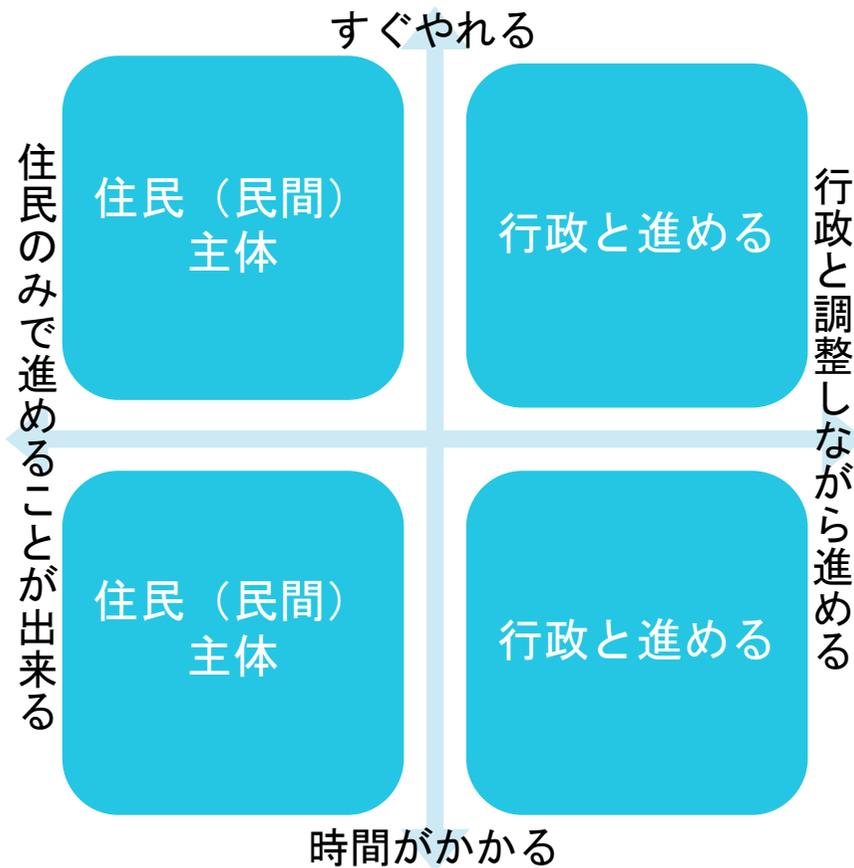
スマホ教室の内容

- スマホの基本操作
電源の入れ方・切り方
- アプリについて
便利なアプリの紹介
- 写真とビデオについて
カメラの基本操作

申し込みは下記からお願いします。
申込はこちら ☎ 019-663-6660 メディフィットうすい



全体の進め方の基本的な考え



松園の中心づくり事業

松園地区の中心はどこなのか？ 中心地区にはどのような施設（機能）が欲しいのか？

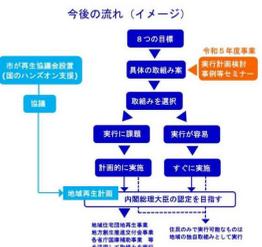
Reborn! Matsuzono~その先の未来へ~フォーラム1開催!



11月23日(木・祝日)に、松園地区公民館でフォーラムを開催しました。その概要をお知らせします。

会場には、住民の皆様、内館市長をはじめとする市役所の皆様、県・市議会議員や町内会長様方、松園地区防犯交通安全協議会長、国の内閣府平林参事官、国土交通省住宅局高岡又室長等の皆様、岩手県交通㈱本田社長様と、計117名の参加をいただきました。

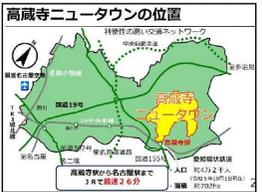
さらに、オンラインで19名の方がご視聴くださいました。ご多忙中にご参加いただき、心から感謝申し上げます。詳細はHPをご覧ください。



今後、地域の意見をまとめて市に提案し、最終的に市の「地域再生計画」の総理大臣認定を目指します。

国の皆様には、開始前にバスターミナルや活動センターなど松園地区内を視察していただきました。

第1部 事例研究 高蔵寺リ・ニュータウンを知ろう! 講師: 愛知県春日井市 松山晴貴企画主任



高蔵寺ニュータウンは、松園より5年早く昭和40年から開発されました。

- 人口は平成7年の約52千人をピークに減少し、現在は約42千人です。高齢化率も市の平均を上回っています。
- このため、市では平成28年3月に再生計画「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を策定しました。(R3年に改訂)



石尾台地区で2017年から「ゆくり自動運転送迎サービス」の実証実験を行いました。昨年10月から有償運行を始めた。

- 今年の2月からは自動運転を行っています。運転手がハンドルから手を放して乗っています。
- 運営は、昨年8月に発足した地元住民によるNPO法人が行っています。
- 料金が約半額になる乗合タクシーも2018年から運行しています。



人口減少等で3校を統合した小学校跡を活用して交流センター「グロップボラン」を整備しました。

- 「こんな場所になったらいいな」とワークショップを3回行って設計を検討し、体育館、児童館、図書館、こどもとまのサポートセンター、地域包括支援センターやコミュニティカフェ等による多世代交流拠点としました。
- 昨年度47万人が来館しました。
- 運営は、2017年に設立したまちづくり会社が行っています。

質疑応答: では、次のような質問・回答がありました

Q まちづくり会社の出資構成は?

A 市の約2.5%を出資しています。ほかは商工会議所、金融機関等が出資し、少しですが個人もあります。

Q ゆくりの自動運転サービスの実績は?

A 有償運行を始めた昨年10月から今年3月までで602人が利用しました。1日平均4.9人です。

Q まちづくりの資産にはどんなものがありますか?

A 小学校校跡や空き家も。まちづくり会社では空き家利用のマッチングも実施しています。

Q 新しいモビリティの課題は?

A 現在は多くの財源を市が負担していますが、将来的にそれぞれが、その財源を市が負担しなくていいようにしたい。

第2部 意見交換 その先の未来を語ろう! 進行: 研究会 伊藤夏樹会長



①中心地区にどんな機能がほしいですか?

【参加者】商業施設があれば便利。【高校生】図書館があると嬉しい。

【高蔵寺の例: 松山】中心地区に大型商業施設が2店舗あるほか、その周りにホームセンター・本屋・大型家具店などがあり、商業機能が集まっている。

【参加者】飲み屋がほしい。(賛成多数) 食事やお茶で人と触れ合う場がほしい。(高校生が「カフェより軽食」も補足。)

【内閣府平林参事官】各地で様々な機能を中心地区に集めている。山形県長井市で図書館と子供の遊び場を併設したら市外からも来ている。

【国交省勝又室長】商業施設と交通拠点併設の例がある。空き家も活用できるのでは。

②地域公共交通についてどう考えますか?

【参加者】バスターミナルが遠いので不便。中心地区に移動し、そこから小さなバスを運行してほしい。(賛成多数)

【本田社長】バスターミナルはオムニバスシステムで一定の成果を収めている。ターミナルは市所有で当社が運営。交通の結節点がまちの中心になるので、ターミナルが今の位置で良いかも。もっと利用しやすいように市とも相談しながら対応したい。

【参加者】高齢者が使う日の便を確保してほしい。桜や栗子地区などの連携も考慮すべき。JGR、IJRの活用も。

最後にコメントをいただきました

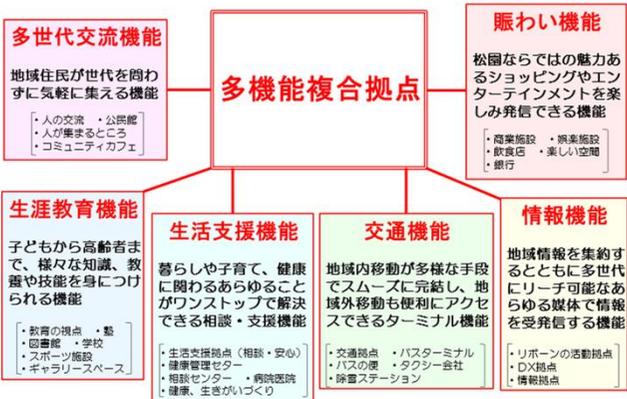
【平林参事官】全国3千の団地の中で住民自ら考えている地区は少なく、全国的に素晴らしい。自信をもって進めてほしい。

【勝又室長】住民が声を出す場や研究会があり、そこにバス事業者も参加している例は全国でほとんどない。国も支援していく。

【内館市長】皆さんとまちをつくらせていただきます。自分たちの手で盛岡、松園をつくっていきましょう。

お知らせ この2点を皆様と話合います。12月11日(月)18:30に公民館第1研修室へどうぞ!

松園地区の中心をどうつくる?



30年、50年先のまちの中心づくりを語ろう! Reborn! Matsuzono フォーラム2 企画書案2

名称: Reborn! Matsuzono フォーラム2

主題: 30年、50年先のまちの中心づくりを語ろう!

日時: 令和6年9月29日(日) 13時30分~16時(13時受付開始)

場所: 松園地区公民館 多目的ホール

目的: 市の「松園地区活動センター大規模改修予定」等を契機に、30年、50年先の未来に向けた「まちの中心づくり」について、これまでにいただいた住民意見を基にまとめた構想案(たたき台)を参考に、住民や関係者に一堂に会して話し合ってください。

- 進行: 第1部 国土交通省調査事業の中間報告
- 第2部 「中心づくり」の構想案説明
- 第3部 「中心づくり」の意見交換
- 申込: 9月22日までに事務局へ

現地調査を行いました!

まちづくりのスタートは「現地調査」から。今回は、研究会メンバーで2つの現地調査を行いました。今後、地域の皆さんと一緒に地域再生計画の案を作成するためには、地域の皆さんと一緒に現地調査を行うことが必要だと感じました。

① 松園地区活動センターなど中心地区の施設

はじめに前県立大学副学長の狩野徹さんに、滝沢市の「ビッグルーフ」の例をご紹介いただきながら「できるだけ多くの人が利用できるように配慮してあるか」といった調査の視点を指導いただき、スタート!

最後は活動センターに戻って調査結果を整理しました。

やはり、図書室、集会室、調理実習室、体育館、児童センターや老人福祉センターなどを実際に使っている皆さんの声を伺いたかったです。



☆テーマは「まちの中心づくり」

松園の再生のために「7つのテーマ」を設定して、それぞれ検討を進めてきた。その一つが「まちの中心づくり」で、老朽化した公共施設を集約・統合し、多様なニーズに対応できる「集まりたくなる場所」を創る

・魅力的で個性的な商業施設が生まれ、地区外からも集い賑わう中心づくりなどを目標としている。

その構想案がまとまったので、紹介し、意見をもらう。

☆「6つの機能」の充実を

バスターミナルの中心エリアへの移転など、これまでの意見を「多世代交流」「生涯教育」「生活支援」「交通」「販わい」「情報」の6つの機能に分類し、その機能を満たす施設や立地候補地を整理した。

全部エアコン、エレベーター設置などバリアフリー化はもとより、子育て支援、図書室閲覧スペースや児童・幼児読み聞かせコーナー、防音音楽スタジオに物販店やカフェ、飲食店の導入も提案する。

☆市に報告、地域再生協議会で検討へ

成果を市に報告し、市が設置する再生協議会での検討を要請す

法人化事業

任意団体から法人へ

法人化事業

任意団から→法人に

任意団体としてのデメリット

- 社会的信用性が低い
- 代表者個人の名義での手続きとなるため、契約の締結・財産管理が困難
- 代表者が変わった時、団体の運営・存続に支障をきたす

法人化することのメリット

- 社会的信用が高い
- 契約を法人名で締結できる
- 銀行の口座を法人名で開設できるため、団体の経理が明確になる
- 代表者が変更しても、法人として継続しての運営が続く

法人化することのデメリット

- 課税される場合がある
- 適切な処理を行わなければならないため、運営が煩雑になる

独居高齢者等見守り実証実験事業

安心して住めるまちを目指して

元気de安心システム

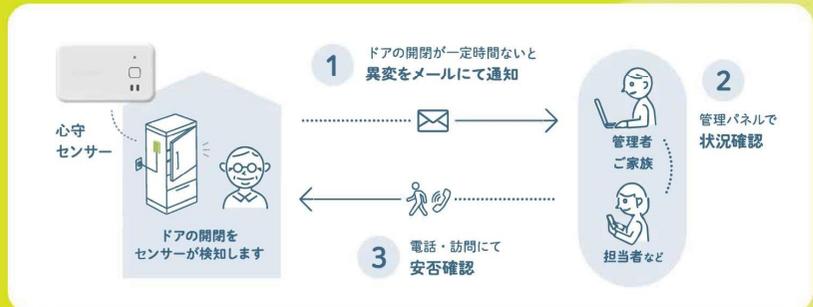
元気de安心守り（安心守センサー）

冷蔵庫などの一定時間ドアの開閉がない場合
トイレのドア、出入り口も可能

みまられる人も
みまもる人も
安心につながる

冷蔵庫にセンサーを設置。一人暮らしの高齢者はいつも通りの生活を送るだけ。家族で、地域で、賃貸住宅で、簡単に利用できるセンサー型みまもり支援サービスです。

施設管理者・ご家族と 組み合わせてご提供 いただけます



気づいて、伝えて、確認する、シンプルなのがちょうどいい サービスです

1 負担の少ない見守り

異変時のみメールでお知らせします

From: 気楽な暮らしサポート
To: 担当者

気楽な暮らしサポートからのお知らせです。センサーが異常を検知したため、お知らせいたします。

お問い合わせ先: 03-XXXX-XXXX
https://www.example.com

判定は1日3回
朝8時・昼14時・夜20時

2 かんたん設置

電源オンですぐに使えるセンサーです

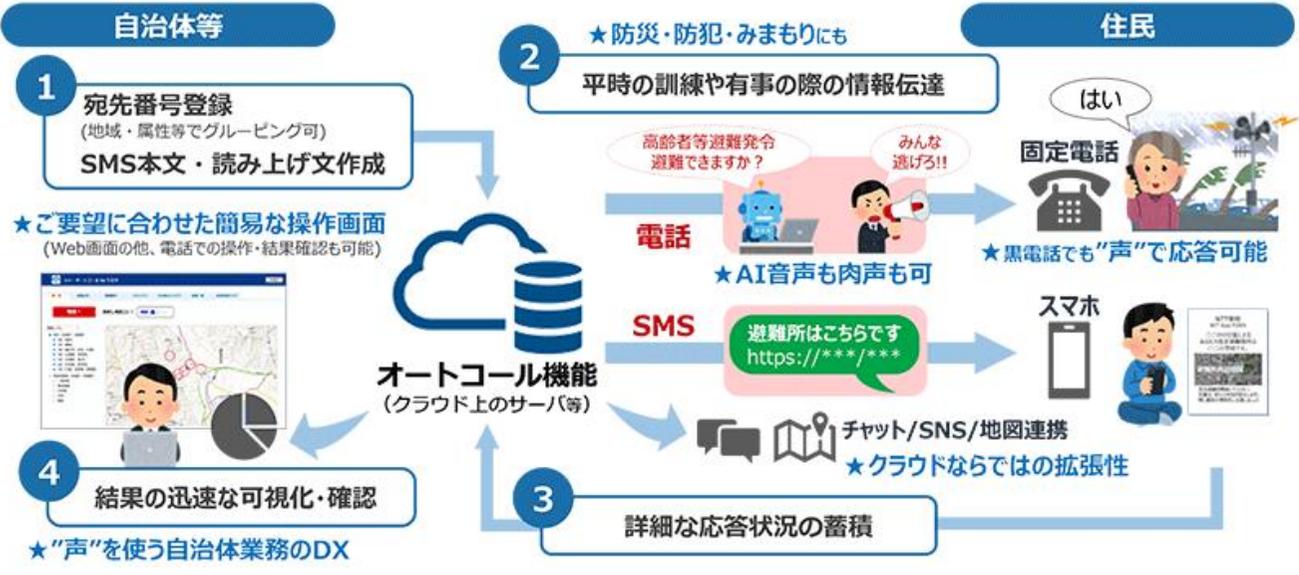
上面/側面設置OK!

心守センサー

3 使いやすい管理パネル

複数人で一緒にみまもりできます

対象者の登録情報やステータスを一覧表示



史上最もシンプルな見守り・防犯デバイス

HelloLight®



HelloLightの概要

「HelloLight」は、LEDのON/OFFを通信で知らせることができる世界初のIoT電球。
今ある電球をひとつ交換するだけで、見守り・防犯サービスが開始できます。(特許第7051275号)

※株式会社ソラコムが提供する「SORACOM IoT SIM」を採用したLEDとSIMの一体型の電球は世界初になります。

特長



電球を交換するだけで利用できます。(工事不要・電源不要・Wi-Fi不要)

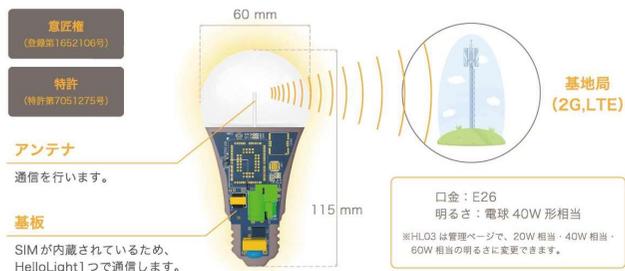


1日の間に点灯と消灯の動きがないと、お知らせが届きます(期間検知)。



点灯をすると電球からお知らせが届きます(点灯検知)。

構造



※イメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

次世代 SIM型 ナースコール

見守りコールシステム

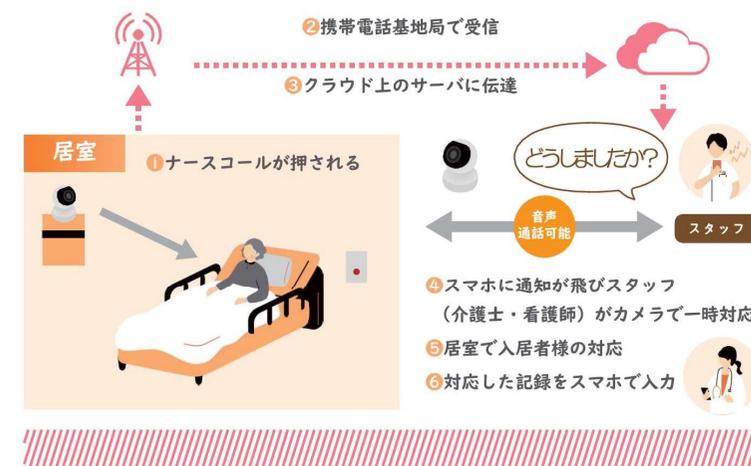
ナースコール・ボタンとスマホだけで解決



SIM型ナースコールのため設置工事等が不要です

ベストリハ・ナースコールなら、対応から記録まで一元管理。

業務の効率化が可能です。



新たな地域交通導入検討事業

誰もが自由自在に移動できる街へ

現在の松園地区の抱える問題と解決策

松園地区と松園地区の交通の問題

- 住民の高齢化
- 高齢化に伴う免許返納
- バスの減便
- 運転手の高齢化
- 等々

は、どうなのだろうか？
そのために、準備としての調査、

それらを解決するために

- 自動運転バス
- (AI)オンデマンドバス
- 乗合タクシー
- ライドシェア
- 等々

NTT東日本自動運転バスの実証実験を実施

地域循環型社会の実現に向けた実証フィールド

NTT e-City Labo

NTTe-City Laboは、地域の課題解決に向けて
NTT東日本グループが取り組むソリューションを
体感できる施設です。



HITACHI
Inspire the Next

栃木県那須町 自動運転バス 実証実験

© Hitachi Systems, Ltd. 2024. All rights reserved.



まずはやってみよう！！

失敗することを恐れるより、何もしないことを恐れる (本田宗一郎)



ありがとうございました